



運輸サービス部会

2012年上期の回顧と下期の展望

森田 透
2012.08.21

2012年上期の回顧

- 物流業界全般
 - 貨物の動きは鈍化傾向、けれど物流インフラはパンパン。
- 構内物流、機工、整備業界
 - 粗鋼生産減少に伴い、構内物流・設備保全作業も減少
- 航空業界
 - 旅客ほぼ横ばい、貨物減少
- 海運業界
 - コンテナ船 輸出は7%増、輸入は4%の増。
 - ばら積み船 船腹増加による運賃低下傾向
- 旅行、ホテル旅行
 - 客室稼働率3.4%低下するが、ルームレートが上がり実質利益も上昇
- 通信、IT業界
 - 携帯電話の加入者数の増加、IT業界は好調、人材の確保が厳しい

物流業界 - 2012年上期の回顧



- 急速な景気減速により貨物の動きが鈍化
- 給与レベルの高騰によりコスト高を招き収益性を圧迫
- 空港・港ともインフラ改善せず。
- Mare Vermelhoで一時期貨物が滞貨
- 税関職員順法闘争始まる

構内物流、機工、整備業界 - 2012年上期の回顧

- 鉄鋼メーカーのコスト競争力低下の影響で製鉄所構内に於ける物流・設備保全作業の契約が厳しさを増し、コスト削減提案等を強く求められている。

航空業界 - 2012年上期の回顧



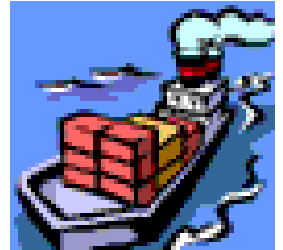
■ 旅客

- 国内線 → 上期の伸びが7.3%と落ち着く
AZUL、TRIPといったLCCがシェアをアップ。
TAM・GOL共3%ダウン
- 国際線 → 前年比1.2%とほぼ横ばい

■ 貨物

- 国内 → ほぼ横ばい
- 国際（輸入）→ 10～15%前年比減（欧州米州キャリア）
（輸出）→ 25～30% 同

海運業界 - 2012年上期の回顧



■ コンテナ船

- 輸出量はアジア向けを中心に前年同期比で7%の増加。一方 輸入は比較的落ち着いており4%の増加にとどまる。全体では6%の増加。

■ 不定期船

- 鉄鉱石の輸出は豪雨・洪水の影響により低調。
- 世界経済の低迷と新造船の竣工により、バルク運賃は低迷が続いている。

旅行、ホテル業界 - 2012年上期の回顧



- 前年同期で客室稼働率が 3.4%ダウン、しかし平均ルームレートがR\$237.55と17%のアップに伴い、実質利益は13%アップしている。

通信、IT業界 - 2012年上期の回顧



■ 通信業界

- 携帯電話加入者数:2億561万台、81,68%がプリペイド方式
- 3G加入者数:5.875万台
- ブロードバンドユーザ数(Jun/12):1.726万台
- 第4世代(4G)の入札
- Telefonica社はVIVOブランドでサービスを統一

■ IT業界

- IT投資の継続(サーバーの仮想化、業務アプリケーション)

2012年下期の展望

- 物流業界全般
 - 空港・港のインフラ整備始まる
- 構内物流、機工、整備業界
 - 政府国内産業優遇施策などでマーケット伸長期待。
- 航空業界
 - 旅客横ばい・貨物景気に左右
- 海運業界
 - コンテナ船 : 上期比較で輸出は若干増、輸入は上期並み。
 - ばら積み船 : 運賃低迷、扱い量は昨年並み。
- 旅行、ホテル業界
 - 来伯客の増加を予想。
- 通信、IT業界
 - 通信、IT業界の伸びを期待

物流業界全般 - 2012年下期の展望



- 空港・港のインフラ整備始まる。
- GRU第三滑走路 サントス新ターミナル建設
- 人材不足と人件費の値上がりが続く？
- 税関ストライキがいつまで続く？
- “Guerra dos Portos” が終止符？

構内物流、機工、整備業界 - 2012年下期の展望

- 14年ワールドカップ、16年オリンピックに向けてのインフラ整備需要でマーケットは伸長見込みで、作業量拡大見込むが、コスト低減の要求は一層強まる状況。

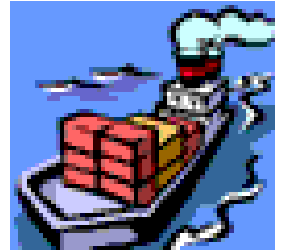
航空業界 - 2012年下期の展望



- 旅客 → 国内・国際とも前年比横ばいか？

- 航空貨物 → 国際貨物
 - (輸入) クリスマス商戦の活発化が鍵
 - (輸出) レアル安は効果を生むか？

海運業界 - 2012年下期の展望



■ コンテナ船

- 国内需要の底硬さはあるが、輸入は上期並み程度に留まる見込み。輸出は若干増を予想。

■ 不定期船

- 中国の経済減速が懸念されるが、粗鋼生産は増加傾向にあり、鉄鉱石の輸出は低調ながらも安定した出荷が見込まれる。

■ 港湾

- 年内は港湾インフラの改善は期待できず、税関を始めとした港湾関係業者のストライキの影響もあり、混雑状態が継続する見込み。

旅行、ホテル業界 - 2012年下期の展望



- ワールドカップ、オリンピックを控えてホテル業界は政府ガイドラインに基づいてホスピタリティー研修プログラムに取り組みを開始している。
- また、これらワールドカップ、オリンピック関連の関係者の動きが目立って来て、下期は客数の増加を期待している。

通信、IT業界 - 2012年下期の展望



■ 通信業界

- 企業通信、10M Etherサービスの普及
- 4Gの投資

■ IT業界

- 2012年のトレンド: Cloud Computing、サーバーの仮想化、企業内SNS
 - 「BYOD(Bring Your Own Device)」

■ 課題、問題点

- IT技術者の確保->技術者不足、人件費の高騰